



結小だより

- ★自分で学ぶ子
- ★仲よく助け合う子
- ★自分でできたえる子



新しいことに挑戦するのはなぜですか？

校長 中野 由美

6年生国語の教科書に、『聞いて、考えを深めよう』という単元があります。児童は、自分とは立場や年齢が異なる人にインタビューをし、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめます。誰に何をインタビューするかは、児童が決めます。相手を決め、内容を準備し、申し込んで、いよいよインタビュー本番です。校長室には、18人の児童がインタビューにやってきました。一対一でインタビューに答えていると、私自身が驚いたり、もっと児童の話を知りたいと思うような、とても楽しい時間を過ごしました。

「午前5時間授業にしたのはなぜですか？」「どんな気持ちでお昼の放送をしているのですか？」など、様々な質問がありましたが、その中に「校長先生はどうして、いろいろ新しいことに挑戦し続けているのですか？」

という質問がありました。その児童は、

「去年の全校リレー、今年の午前5時間授業など、どれも私たちが考えつかないことばかりでした。新しいことを考えたり、実際にやったりすることは、とても大変だと思います。それでも校長先生が挑戦し続ける理由を教えてください。」と話しました。



校長室でインタビューする6年生の児童

あらためて聞かれ、私は「なぜだろう？」と自問しました。

教育においては、どんなに社会が変化しようとも、「時代を超えて変わらない価値のあるもの」があります。豊かな人間性や学力、人権を尊重する心などがその代表です。また同時に、教育は、社会の変化に関心であってはなりません。私は、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」に柔軟に対応し、児童の個性や成長を見極めながら新しいことにも挑戦していきたいと考えています。

挑戦する姿勢を児童に示すことは、児童が勇気をもつきっかけになるかもしれません。また、新たな取組を進めることで、生活に変化が生まれます。その変化は児童の心を刺激し、退屈な毎日が少し特別な日になるかもしれません。

難しいことをいろいろと考えましたが、私が挑戦し続ける根底には、「児童の笑顔が見たい」「児童が学校が楽しいと思える毎日を送れる学校にしたい」という気持ちがあります。この気持ちを越える理由はありません。これからも、必要だと思えば、児童や職員と話し合い、新しいことに挑戦し続けます。

結ぶ手と手が輪になって ～結小学校の輝き～

表彰

■第27回安八梅まつり俳句コンテスト優秀句
6年 竹中 弥夜生 さん
「梅園で ほんのりかおる 春の風」

「野菜博士」の渡部先生に教えてもらって、上手に苗を植えることができてうれしかったよ。



地域の力に支えられて

2年生の生活科では、畑に夏野菜を植えて、栽培、観察をします。5月中旬には、児童が一人一本、キュウリ、ミニトマト、ナス、オクラなど、自分が育てたい野菜の苗を植えました。地域の渡部伸晃さんが「野菜博士」として苗植えを手伝ってくださったり、その後の栽培のアドバイスをしてくださったりしています。

また、5月下旬にグループごとの町探検を行う際には、複数の保護者がボランティアとして児童の安全を見守ったり活動を支援したりしてくださいました。

地域の皆様の力に支えられ、児童の学習活動がより充実しています。ありがとうございます。



児童に野菜の苗の植え方を教えてくださる渡部伸晃さん



町探検 出発式

各班についてくださる保護者の皆様を紹介し、探検を開始しました。

地域の声

5月23日（金）の夕方、次のような電話がありました。

「学校近くの道ですれ違った小学生のあいさつが気持ちよく、私はとてもうれしい気持ちになりました。結校区に住んでいないので、電話をしようか迷いましたが、うれしい気持ちを伝えたくて電話をしました。地域であいさつができる、すてきな子どもたちがいる学校ですね。」

児童にも地域の声を伝えています。これからも、誰かがうれしくなるような、誰かを幸せにするあいさつができる学校・児童であり続けたいと思います。



むずぶテラスや郵便局、銀行、お寺、パンや苗のお店などで、お話を聞いたり、質問をしたり、どの班も安全に楽しく学習できました。



5月16日（金）の午後、引き渡し訓練を行いました。今年度は結こども園と東安中学校との合同開催としましたが、大きな混乱なく引き渡しをすることができました。ご協力いただき、ありがとうございました。